

(仮称)宮城県立高等技術専門校



令和10年4月開校

(現在:宮城県立仙台高等技術専門校)

令和10年4月より、県内5校の県立高等技術専門校を仙台高等技術専門校1校に集約し、(仮称)宮城県立高等技術専門校が開校します。



仙台高等技術専門校とは？

- ◇ 職業能力開発促進法に基づき、昭和39年（1964年）に設置された職業能力開発施設です。
- ◇ 昭和53年（1978年）に宮城県立仙台高等技術専門校に改称しました。
- ◇ 高等学校等を卒業し就職を目指す方や新しい職種に転職を考えている方に対し、希望する職業に必要な技能や知識を習得する「職業訓練」を実施しています。
- ◇ 宮城県が運営する公共の職業訓練施設で、県内に5校ある施設を令和10年4月より仙台市宮城野区にある仙台高等技術専門校に集約し、リニューアルして開校します。
- ◇ 新設される2科を含めた全15科により、「ものづくり産業」を支える技術者を養成し、地域産業各社へ人材を輩出しています。
- ◇ 産業界のニーズを取り入れたカリキュラムにより、実技を中心とした実践的な訓練を行います。
- ◇ 目指す業界に必要な各種資格・免許の取得のために、丁寧で分かりやすい指導を行います。
- ◇ 「無料職業紹介事業」により、職業相談・紹介を行い、就職活動をサポートします。



現在の仙台高等技術専門校



令和10年度開校のイメージ図（鳥瞰図）

仙台高等技術専門校で学ぶ4つのメリット

Point 1

安心な学費

普通課程：
入学金5,650円
授業料年額118,800円
(減免制度あり)
短期課程：受講料無料

※教科書、作業服等は実費負担

Point 2

資格取得に有利

目指す業種に必要な資格を取得でき、就職にも有利です。

Point 3

就職に強い

きめ細かな求人情報の提供、ハローワークと連携して就職を支援します。

Point 4

通学に便利

JR福田町駅徒歩6分
自家用車通学も可能
(許可制)
遠方に自宅がある方に家賃補助を検討中

宮城県立高等技術専門校再編整備事業のご案内

(1) 訓練の方針

- 富県躍進に向けたものづくり産業の人材育成、高等技術専門校訓練科の定員充足状況や就職状況の推移、民間訓練機関の訓練科の現状等を総合的に勘案し、県として真に必要なとされる訓練科を設定します。
- 気仙沼地域において、民間委託によるサテライト訓練を実施します。

(2) 訓練科の紹介

令和10年4月より、県内5校体制を仙台高等技術専門校（仙台校）1校に集約し、（仮称）宮城県立高等技術専門校が開校します。宮城県内の求職状況等を踏まえ、**新たに「電子制御技術科（メカトロニクス科）」と「総合建設技術科」を新設します。**また、校名・訓練科名・課程（訓練期間）・定員などについては、今後、変更する可能性があります。

【令和9年度訓練生募集計画】

校名	訓練科名	課程	定員	訓練科募集計画
白石校	情報通信ネットワーク	2年	20	募集※A
	プログラムエンジニア	2年	20	募集停止
仙台校	機械エンジニア	2年	15	募集
	電子制御システム	2年	20	募集
	自動車整備	2年	20	募集
	電気	1年	20	募集
	設備工事	1年	20	募集
	建築製図	1年	20	募集
	塗装施工	1年	20	募集
	サインデザイン	1年	10	募集
大崎校	木の家づくり	2年	15	募集※B
	電気	1年	20	募集
石巻校	自動車整備	2年	20	募集停止
	金属加工	1年	15	募集
	木工	1年	10	募集
気仙沼校 ※C	自動車整備	2年	15	募集停止
	オフィスビジネス	1年	15	募集

仙台校	造園	6月	10	募集
	左官	6月	10	募集
	ジョブセレクト	1～8日	各科5	募集
石巻校	溶接	6月	5	募集
	配管	6月	5	募集
気仙沼校	溶接	6月	5	募集

【令和10年度訓練生募集計画】

校名	訓練科名	課程	定員	訓練科募集計画
（仮称）宮城県立高等技術専門校（現仙台校）【普通課程】	新設 電子制御技術	2年	20	募集
	新設 総合建設技術	1年	10	募集
	機械エンジニア	2年	15	募集
	自動車整備	2年	20	募集
	電気	1年	20	募集
	設備工事	1年	20	募集
	塗装施工	1年	10	募集
	サインデザイン	1年	10	募集
	情報通信ネットワーク	2年	20	募集停止※A (2年生のみ在籍)
	電子情報通信ネットワーク	2年	15	募集
	木の家づくり	2年	15	募集※B
	木工	1年	10	募集
	電子制御システム	2年	20	募集停止 (2年生のみ在籍)

【短期課程】	造園・ガーデニング	6か月	10	募集
	左官・エクステリア	6か月	10	募集
	ジョブセレクト	1～8日	各科5	募集
	オフィスビジネス (気仙沼地域：サテライト) ※C	3～6か月 ×2 or 3回	30～45	募集

令和9年度の訓練をもって県内5校体制を再編成し、令和10年度から仙台校1校に集約し訓練を行います。白石高等技術専門校（白石校）のプログラムエンジニア科及び石巻高等技術専門校（石巻校）と気仙沼高等技術専門校（気仙沼校）の自動車整備科については令和9年度生の募集は実施しません。

※A：1年次は白石校で訓練を実施し、2年次は仙台校に訓練場所を移し実施します。

※B：1年次は大崎高等技術専門校（大崎校）で訓練を実施し、2年次は仙台校に訓練場所を移し実施します。

※C：令和10年度から気仙沼地域においては、オフィスビジネス系のサテライト訓練を実施予定です。

宮城県立高等技術専門校再編整備に係るお問い合わせは、宮城県経済商工観光部産業人材対策課までご連絡ください。

【TEL：022-211-2762 メール：sanzinj1@pref.miyagi.lg.jp】

訓練生インタビュー1



氏 名 :菅井 真南人(電子制御システム科)

出身高校:尚綱学院高等学校

就職先:株式会社日立ビルシステム

趣 味:カフェ、コーヒー

Q1 仙台高等技術専門校に入学したきっかけを教えてください。

A1 高校を卒業して、医療系の大学に進学しましたが、学習内容が合わず大学2年生の時に中退しました。そこで次の進路先を考えていた時、仙台高等技術専門校電子制御システム科のことを知りました。父が関連する業種に就いていたこともあり、父と同じ道に進もうと思いました。

Q2 周りの友人は年下で戸惑いなどはありませんでしたか？

A2 特にそのような抵抗はありませんでした。周りの友人も仲良くしてくれて、自分としては居心地のよい環境でした。

Q3 理工系の勉強は初めてだと思いますが、数学や専門的な訓練内容に抵抗はありませんでしたか？

A3 学科や実技の訓練が約半々あり、気持ちを切り替えながら勉強することができました。数学はこれまでの勉強と繋がるところがありましたので、楽しく勉強することができました。

Q4 電子制御システム科の勉強を始め、手応えを感じ始めたのはいつ頃ですか？

A4 1年生の早い段階で、楽しいと感じる瞬間があり、また達成感が得られることがありましたので、これからもやっていける！という手応えを感じました。

Q5 就職活動を始めた時期や内定をいただいた時期を教えてください。

A5 本格的に就職活動を始めたのは、2年生になってからでした。最終的に内定をいただいたのは2年生の8月頃で、周りの友人と比較すると早い方ではありませんでした。

Q6 就職先を決めた理由を教えてください。

A6 私は、現場仕事の方が向いていると考えています。就職先は昇降機ของบริษัทであり、様々な現場に移動し、メンテナンスする業務を行っています。そのような仕事をしたいと思い、今の会社を選びました。

Q7 就職先は何社受験しましたか？

A7 3社受験しました。受験した会社には、ソフトウェアの会社も含まれていましたが、途中から自分の適性を考え、1社に絞りました。

菅井さんから入学を検討している方へのメッセージ

電子制御システム科の訓練では、ハードウェアやソフトウェアの勉強をしているため、就職先は幅広くあります。また、訓練生数が少ないため、先生との距離感も近く、話しやすい環境です。また、在学中に技能検定試験にもチャレンジすることができ、就職にも有利です。

就職や自分自身の進路で悩んでいる方がいるかと思いますが、仙台高等技術専門校では頑張れる環境が整っていると思います。是非、仙台高等技術専門校に入学し、仲間と共に頑張ってもらいたいと思います。



訓練生インタビュー2



氏 名 : 遠藤 大和(建築製図科)

出身高校: 宮城県黒川高等学校

就 職 先: 防衛省陸上自衛隊防衛技官

趣 味: 映画鑑賞

Q1 仙台高等技術専門校の建築製図科に入学し、1年間勉強していかがでしたか？

A1 入学する前は建築に関する知識がなく、たいへん不安でしたが、この1年間建築について学び、建築に関する資格を取得することができました。事前に知識を持ち合わせていなくてもやっていけると思いました。

Q2 在学中、最も思い出に残ったことは何ですか？

A2 訓練の中で、住宅展示場を見学に行ったことです。様々なメーカーが、それぞれの特徴ある住宅を展示しており、見学していて勉強になりました。特に印象に残ったのは、バリアフリーに配慮された住宅であり、外からリビングまでスムーズに移動できる構造の住宅を見て、工夫されていておもしろいと思いました。また、ユニバーサルデザインに興味があり、すべての人が快適に利用することができるという考え方に共感もてます。また、訓練の内容については、学科で「建築構造」という科目があり、建物構造の内容が面白く、たいへん興味をもちました。

Q3 1年間の訓練の中、もっとも自信になったものは何ですか？

A3 CADの操作についてです。訓練の中で、CADの操作について学びました。また、CAD検定を受検し、合格することができ、自信をもつことができました。

Q4 訓練では実技に関する時間が多く、それが自信に繋がっていますか？

A4 先程、お話をさせていただきましたCADの資格を取得することができた大きな要因は、実技時間の中で多くの練習課題に取り組むことができたからです。また、試験対策では、制限時間内に課題を終わらせることに意識しながら、勉強しました。CADの試験に合格できたことは自信に繋がっています。

Q5 就職活動はどの程度活動しましたか？

A5 防衛省陸上自衛隊が第一志望でしたが、不合格の場合に備え、民間企業も何社か調べていました。

Q6 就職先でもCADの知識は役に立ちそうですか？

A6 防衛省陸上自衛隊では、営繕に関する仕事をする事になっています。そのため、CADで図面を作成する機会が多くあると思いますので、本校で学んだ知識は役に立つと思います。

遠藤さんから入学を検討している方へのメッセージ

本校に入学した時、建築に関する知識がなく、授業についていくことができるか不安でした。

訓練内容は、学科と実技があり、建築製図科でも体を動かし、木材を加工することがあります。本訓練科で1年間学び、建築の知識がない私でも資格を取得することができました。

建築の知識がなく悩んでいる方でも本校に入学することで、技術や資格を得ることができます。また、就職については、多くの求人がありますので、安心して、就職活動することができます。

是非、興味がある方はオープンキャンパスに参加してほしいと思います。



電子制御技術科

『設計・製作・制御のエキスパート』を目指す

令和9年度は関連する訓練科である「電子制御システム科」で入校生の募集を行います。令和10年度から当科を新設し、下記内容で訓練を実施します。

訓練期間

2年

定員

20人

新設

R10年度
入校生募集



就職情報

就職率 — %

(令和10年度 新設)

【主な就職先】

生産技術・生産設備エンジニア（半導体製造機器・部品メーカー等）、機械設計エンジニア、工場設備保全技術者、電気工事士、CADオペレーターほか

訓練概要

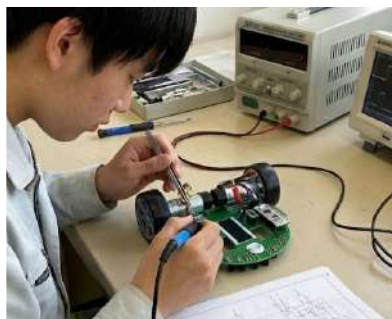
機械（メカニカル）、電気・電子（エレクトロニクス）、情報技術（IT・制御）の3つの分野を融合した知識と技能を習得します。設計から加工、組み立て、制御まで、『モノを作り、動かし、自動化する』ためのすべてをマスターします。



機械加工実習



メカトロニクス実習



電子回路組立実習



制御プログラム作成実習



ココがすごい!

最新の実習設備

最新の高精度デジタル測定器、3Dプリンタ、CNC工作機械、産業用ロボットアーム、PLC制御盤、メカトロニクス実習装置を導入し、自動機や省力化システムの構築に関する知識と技能を習得します!



取得または
目標とする
資格など

- 技能検定「シーケンス制御」「機械保全（電気系、機械系）」
- 第二種電気工事士
- 技能講習「ガス溶接」
- 安全衛生特別教育「アーク溶接」、「自由研削といし」、「低圧電気取扱」、「産業用ロボットの教示」

指導員から

現代のものづくりは単なる「機械」の枠を超え、AIやネットワークが融合した「知能を持つシステム」へと進化しています。令和10年度に新設する本科では、ハードウェアとソフトウェアの両面からアプローチできる、次世代のハイブリッドな技術者を育成します。「難しそう」と感じる必要はなく、大切なのは「これはどのように動いているのか?」という純粋な好奇心です。最新の設備を使い、自分の手で機械を操る喜びを積み重ねることで、好奇心は一生モノの技術へと変わります。10年後の自分を、ここから一緒に創り上げましょう。

必要経費

教科書 約35,000円
作業服・靴 約20,000円
その他、資格受験代等の費用がかかります。

在校生の声

新設科につき令和11年度募集案内からの掲載になります。

※写真の左下に★印のついている写真は株式会社新興技術研究所様から提供いただきました。

総合建設技術科

自分に合ったものを見つけることができますよ！

令和9年度は関連する訓練科である「建築製図科」、「金属加工科（石巻校）」、「溶接科（石巻校、気仙沼校）」で入校生の募集を行います。令和10年度から当科を新設し、下記内容で訓練を実施します。

訓練期間

1年

定員

10人

新設

R10年度
入校生募集

就職情報

就職率 — %

(令和10年度 新設)

【主な就職先】

鉄工業系(溶接・板金等)

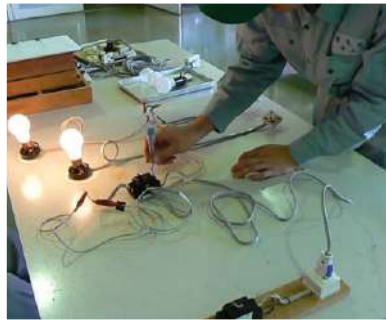
建設業系(鉄筋・型枠・電気・配管・塗装等)ほか

訓練概要

建設業に関わりの深い職種である溶接・板金、型枠・鉄筋、建築製図、電気工事、配管、塗装の基礎を学びます。この中から、自分に向いている職種の関連する会社へ就職することを目指します。また、将来、多能工となれるような人材の育成を目標に訓練を行います。



鉄筋実習



電気施工実習



配管実習



塗装実習



ココがすごい！

大きくて、広い～
溶接ブース

実習場には、溶接の練習ができるブースを定員分設置する予定です。また、溶接作業がしやすいように十分な広さを確保します。また全てのブースに被覆アーク溶接機、半自動溶接機、TIG溶接機の3種類の訓練機器を整備し、これらを専有して溶接の練習をすることができます。

※左写真一覧はイメージです。

取得または
目標とする
資格など

- JIS 溶接技能者評価試験「A-2F」、「SA-2F」、「TN-F」
- 技能検定「型枠」、「鉄筋」
- 建築 CAD 検定試験
- 技能講習「ガス溶接」、「玉掛け」、「小型移動式クレーン」、「フォークリフト」
- 安全衛生特別教育「アーク溶接」、「自由研削といし」、「低圧電気取扱」、「足場の組立」、「フルハーネス」
- 第二種電気工事士

指導員から

本科で学ぶ色々な職種は、建設業において、それぞれが重要な役割を持つ仕事で、学びの中から興味がある仕事や一生打ち込んでいける仕事を見つけることができます。さらに、それぞれの職種の基礎を幅広く学ぶことで、就職後、専門となる仕事以外でも「できること」が増え、将来は多くの仕事を任せられる貴重な人材になる可能性があります。全ての職種について、専門のスタッフ（職業訓練指導員）が、一から丁寧に指導していきますので、色々チャレンジしたい方、何をやるべきか迷っている方も、是非、総合建設技術科への入学を検討してみてください。

必要経費

教科書 約 30,000 円
作業服・靴 約 20,000 円
その他、資格受験代等の費用がかかります。

在校生の声

新設科につき令和11年度募集案内からの掲載になります。

機械エンジニア科

最先端のさらに先を目指すマイスターになる！

訓練期間

2年

定員

15人

**R9年度
入校生募集**

就職情報

就職率 100%

(令和6年度修了生)

【主な就職先】

自動車部品関連企業、半導体製造機器関連企業、機械部品関連企業 ほか

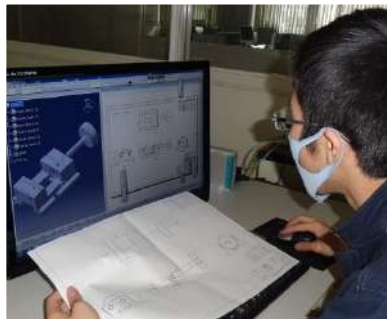
訓練概要

各種工作機械による機械加工や手仕上げ作業、精密測定機器による測定、機械保全や電気保全に関する知識と技能を習得し、県内の自動車部品関連企業や半導体製造機器関連企業等で中核を担う技能者になることを目指します。

※東北職業能力開発大学校「生産機械システム技術科（応用課程）」の受験が可能です。



フライス盤実習



CAD実習



手仕上げ実習

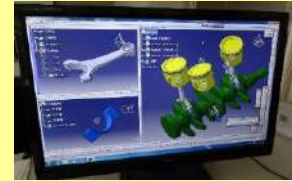


三次元測定機実習



ココがすごい！

**最新の設備を使って
勉強ができる！**



機械エンジニア科は令和8年度から既存の設備を順次更新する予定です。入学後は最新のターニングセンタや5軸マシニングセンタなどの各種工作機械、三次元測定機、3Dプリンタ、CAD/CAMシステムを用いて、県内の自動車関連企業や半導体関連企業等で活躍するために必要な知識と技能を習得することができます。

取得または
目標とする
資格

- 技能検定「機械加工」、「機械検査」、「機械プラント製図（CAD）」（技能照査に合格した場合、2級・3級試験の学科免除）
- 技能講習「ガス溶接」
- 安全衛生特別教育「アーク溶接」、「自由研削といし」、「機械研削といし」

指導員から

機械加工は、日本の産業を支える重要な役割を担っています。機械加工は、難しいイメージがありますが、未経験の方にも基本から丁寧に指導していきます。ものづくりの楽しさを体験しましょう。

在校生の声

高校在学中に将来の進路を考え、機械関係の職に就きたい気持ちが強くなり、その中で、高技専の存在を知りました。入学当初は、機械加工の知識が全く無い状況でしたが、先生方の丁寧なご指導があり、技能検定2級・3級を取得し、技能競技大会に出場できるほど技能を高めることができました。機械加工やものづくりに関心のある方は、是非、入学を検討してみてください。

必要経費

教科書 約 35,000 円
作業服・靴 約 19,000 円
その他、資格受験代等の費用がかかります。

自動車整備科

整備技術はもちろん接客もできる整備士を育成しています。

訓練期間

2年

定員

20人

**R9年度
入校生募集**

就職情報

就職率 **100%**

(令和6年度修了生)

【主な就職先】

トヨタ、ホンダ、日産、スズキ、三菱ふそう、いすゞ等の自動車ディーラー、建機のリース・メンテナンス会社、民間自動車整備工場 ほか

訓練概要

自動車整備に必要な機械及び器具の取扱いから自動車の構造・作動及び定期点検並びに故障探究の基礎までを学び、二級自動車整備士（総合）の試験に合格できる知識と技能を習得します。また、令和8年度から大型車両・二輪車に関する訓練が強化されます。



定期点検実習



ブレーキ整備実習



エンジン整備実習



大型シャシ整備実習



ココがすごい!

二級整備士合格率

93%修了後も安心

自動車整備科は例年多くの求人があり、県内外の自動車ディーラーはじめ、広く自動車整備業界へ就職しています。令和6年度の2級整備士登録試験ガソリン・ジーゼルともに高い合格率を誇っています。長年の実績の中、先輩方もさまざまな企業で活躍しており自動車業界からも高い評価をいただいております。ベテランの職員による懇切丁寧な指導で、整備士資格取得や履歴書の書き方から面接・実技試験対策まで、合格のお手伝いをします。自動車整備士を目指して、是非我々と一緒にこの学校で学びませんか！職員一同お待ちしております！

取得または
目標とする
資格

- 二級自動車整備士（総合）の実技試験免除
- 技能講習「ガス溶接」
- 安全衛生特別教育「アーク溶接」、「自由研削といし」、「電気自動車等の整備」

指導員から

自動車整備の知識・技能はもとより、お客様に対する態度・言葉遣いなどの接遇の仕方にも力を入れて指導しています。基本からじっくり指導しますので、自動車整備に関する知識がなくても心配ありません。

在校生の声

訓練では、座学で学んだ知識を活かし、実践的な実習のおかげで日々成長を感じることができています。また、少人数制なので先生方との距離が近く、訓練だけでなく、就職など様々な相談ができます。

必要経費

教科書等 約 38,000 円
作業服・靴 約 36,000 円
その他、資格受験代等の費用がかかります。

電 気 科

国家資格である第二種電気工事士の養成施設です。

訓練期間

1年

定員

20人

**R9年度
入校生募集**

就職情報

就職率 **100%**
(令和6年度修了生)

【主な就職先】

屋内配線工事業、配電線工事業 ほか

訓練概要

電気工事士として必要な住宅、ビル、工場等の電気配線の設計、施工、検査に関する知識と技能を習得します。また、令和10年度から太陽電池、家庭用蓄電池、電気自動車内蔵蓄電池を連携したシステムを取り入れた訓練を実施します。さらには、電気工事に関連する資格取得にも力を入れ、業界で即戦力として活躍できる人材を育成します。



ケーブル工事実習



外線工事実習



器具使用実習



電気機器制御実習



ココがすごい!

東北唯一!

1年課程で電気の
国家資格を2つ同年
取得可能!



第二種電気工事士は経済産業省指定の養成施設のため、修了時に全員免状(宮城県)を取得できます。さらに上位の第一種電気工事士試験にチャレンジし、全国平均を上回る合格率(令和7年度77.7%)を達成しています。

取得または
目標とする
資格

- 第二種電気工事士 ●第一種電気工事士(実務経験3年後免状取得)
- 技能講習「高所作業車運転」、「小型移動式クレーン」、「玉掛け」
- 安全衛生特別教育「足場組立」、「低圧電気取扱」

指導員から

想像してみてください。電気が使えない生活。あなたは何時間耐えられますか?現代社会は電気がなければ機能しません。電気工事士は、私たちの暮らしの中で、電気を便利にまた安全に利用し、様々な電気工事や電気設備の維持管理する役割を担っています。将来的にも職人が生きてくるフィールドであり、安定性と成長性を兼ね備えており、この世になくてはならない職業です。

必要経費

教科書	約 33,380 円
作業服・靴	約 34,900 円
工具	約 33,000 円
その他、資格受験代等の費用	がかかります。

在校生の声

私はこれまで電気についての知識は全くありませんでした。電気科で基礎から学び、第一種電気工事士試験にも合格することができました。電気工事士として、社会に貢献したいと思います。

設 備 工 事 科

空調、給排水設備の施工方法や維持管理について学びます。

訓練期間

1年

定員

20人

**R9年度
入校生募集**

就職情報

就職率 100%

(令和6年度修了生)

【主な就職先】

給排水衛生設備工事業、ガス設備工事業 ほか

訓練概要

一般住宅及び中高層建築物の配管図の理解ができるとともに、給排水・ガス設備・暖冷房設備等の施工ができ、修了時には各種資格が取得できる知識と技能を習得します。



給排水衛生空調設備実習



エアコンの取付け実習



液化石油ガス設備士養成
(模擬家屋作成の様子)

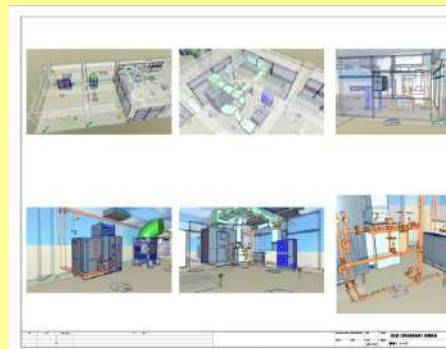


技能五輪全国大会に出場



ココがすごい!

**東北初 最新3D
CADを使用して、実
習設備を完成させま
す**



業界シェアNO.1のCADシステムを令和7年度から導入しました。実際に最新の訓練機器を作動させる施工実習を計画しています。

取得または
目標とする
資格

- 技能検定「建築配管作業」2級の学科免除（技能照査に合格した場合）、実技免除（技能五輪宮城県大会で技能証を取得した場合）、修了後申請により2級技能士を取得
- 技能検定「冷凍空調和機器施工」 ●液化石油ガス設備士
- 技能講習「ガス溶接」
- 安全衛生特別教育「アーク溶接」、「自由研削といし」

指導員から

設備工事科では、水道やガスなど日常生活に欠かすことのできない建築設備について、実践的な技能を習得することが出来ます。修了後は、人々の生活の基盤となるライフラインを提供する仕事に就くことができ、とてもやりがいがあります。

在校生の声

空調設備や給排水衛生設備などの仕事に就きたいと思い、設備工事科に入学しました。日本は他国と比較すると地震が多く、ライフラインの整備・維持は重要な課題になっています。この課題を解決できるのは、設備工事業界だと思っていますので、業界で活躍できる人材になれるよう努力します。

必要経費

教科書	約 50,000 円
作業服・靴	約 50,000 円
その他、資格受験代等の費用	がかかります。

塗 装 施 工 科

建物や製品の外観や耐久性を学び塗装技術者を目指します。

訓練期間

R9 1年

R10 1年

定員

20人

10人

**R9年度
入校生募集**



就職情報

就職率 100%

(令和6年度修了生)

【主な就職先】

塗装業（建築、金属、木工）、防水業、下地調整業
ほか

訓練概要

各種塗装素材（建築物、金属製品、木工製品など）に応じた塗装用器具や塗装用機械を使用した下地処理から上塗りまでの一貫作業ができるとともに、調色調合及び色彩調節等が行える技能及び関連知識を習得します。



調色基本実習（調色作業）



建築物塗装実習（下地処理）



足場実習（足場組立作業）



塗装機器操作実習
（スプレー塗装作業）



ココがすごい!

日本全国から

大注目!



全国で希少な塗装のプロフェッショナルを育成しています。建築塗装の知識の他、塗料・器具の扱い、木工塗装や金属塗装まで幅広い技能を習得し、塗装技能士を目指します。求人は日本全国の塗装関連の企業からあり、独立開業した先輩も多くいます。

取得または
目標とする
資格

- 技能検定「建築塗装」「金属塗装」「鋼橋塗装」（技能照査に合格した場合2級の学科免除）
- 乙種第4類危険物取扱者
- 技能講習「酸素欠乏・硫化水素危険作業」、「有機溶剤作業」、「高所作業車運転」
- 安全衛生特別教育「足場の組立」、「フルハーネス」、「自由研削といし」

指導員から

塗装施工科では「塗る」だけでなく、調色配合や下地処理、足場、防水など多岐にわたる専門的な知識と技能を習得します。また、就職先も塗装業界のみならず、塗料工場やリペア業界、下地処理業界、シーリング業界など専門職種への就職実績が多数あります。自分の得意分野を塗装施工科で一緒に発見しましょう。

在校生の声

実家の屋根と外壁塗替えをしてもらった業者の丁寧且つスピーディな作業風景に興味・関心を持ち、塗装施工科に入校しました。授業では、先生や講師の方々が丁寧に指導して下さったおかげで、多くの資格を取得することができました。また、実習では安全に配慮しながら、安定した作業が行えるようになりました。修了後は学んだことを活かし、社会で活躍できるよう努めます。

必要経費

教科書 約11,000円

作業服・靴 約23,000円

その他、資格受験代等の費用がかかります。

サインデザイン科

人の役に立つ「デザインの仕事」

訓練期間

1年

定員

10人

**R9年度
入校生募集**

就職情報

就職率 **100%**

(令和6年度修了生) ※令和7・8年訓練休止

【主な就職先】

屋外広告業、看板製作施工会社、店舗内装業 ほか

訓練概要

サインデザイン科では、様々なサイン（ビルや店舗等の看板などの広告物）の製作から取り付けまでの技術や技能を習得します。具体的には、切る、貼る、描く、組み立てるなどの作業を行い、サインを完成させていきます。また、令和8年度に新たな訓練機器を導入し、実践的な訓練を行うための訓練環境を整備していきます。



ディスプレイ作成実習



シート貼り実習



工具取り扱い実習



デザイン作成実習



ココがすごい！

東北で唯一！
サイン製作の
プロを育成



本校のサインデザイン科は、東北に唯一設置されている訓練科です。以前から人気がある訓練科でしたが、校の事情により、令和7・8年度訓練を休止していました。しかし、令和9年度から訓練が再開できる見込みとなりましたので、是非、ご期待ください。

取得または
目標とする
資格

- 技能検定「広告美術仕上げ」（技能照査に合格した場合、2級の学科免除）
- 色彩検定 UC 級
- 技能講習「高所作業車運転」
- 安全衛生特別教育「足場の組立」、「フルハーネス」

指導員から

デザインやサインについて、よく分からなくても基礎から丁寧に指導します。また、将来クリエイティブ（新しいアイデアを生み出すこと。また、既存の枠にとらわれず何か創作すること）な仕事をしたい方、目に見える形で成果を残したい方におすすめです。1年間でサイン（看板類）の製作・施工の基礎を学ぶことができます。

修了生の声

入学して初めは不安でしたが、基礎的なところから学ぶことができるので、確実に知識や技術が身についていると感じることができました。とても楽しい一年間でした！！！！

必要経費

教科書	約 18,000 円
作業服・靴	約 20,000 円
道具	約 12,000 円

電子情報通信 ネットワーク科

世界中の距離をゼロにする。そんな技能を身につけませんか？

※令和9年度入校生までは「情報通信ネットワーク科」、令和10年度から「電子情報通信ネットワーク科」に名称が変わります

訓練期間

R9 2年

R10 2年

定員

20人

15人

**R9年度
入校生募集
(白石校)**

※令和9年度(1年次)は白石高等技術専門校で、2年次は仙台高等技術専門校で訓練を実施します。



就職情報

就職率 100%

(令和6年度修了生)

【主な就職先】

電気通信工事関連企業 道路・鉄道等交通インフラ系企業 ほか

訓練概要

現代社会の基盤となるインターネットや通信インフラの仕組みをハードウェア(物理的な機械)とソフトウェア(プログラム)の両面から「構築・運用・保守」できる実践的な知識と技能を習得し、情報通信業界の最前線で貢献でき、即戦力となる技能者を目指します。また、令和10年度からネットワーク制御・管理、セキュリティ及びIoTに関連する分野を強化していきます。



光通信実習



マイクロ波工学実習



端末設備の操作



通信工学実習



ココがすごい!

**第一級陸上特殊無線
技士 養成課程**



養成課程に認定されていることもあり、無線設備が充実しています。実習ではスペクトラムマスタにより携帯電話、陸上移動無線、Wi-Fiなどのさまざまな種類の無線信号の監視、探索、識別、分析、他にもレーダー装置による物体の位置補足の技能等を習得できます。養成課程は国家試験の受験よりも圧倒的に合格率が高く、効率的に学習できます。

取得または
目標とする
資格

- 第一級陸上特殊無線技士 ●技能検定「情報配線施工」
- 工事担任者「総合通信、第一級デジタル通信、第一級アナログ通信」 ●第二種電気工事士
- ITパスポート ●電気通信工事施工管理技術検定1級、2級(第一次検定)

指導員から

情報通信ネットワークは、いまや社会・経済活動を支える最も重要なインフラです。スマートフォンやインターネットが当たり前となった現代、その裏側を支える技術への需要はかつてないほど高まっています。高等技術専門校で確かな技能を習得し、デジタル社会の未来を支える、一生モノのキャリアをスタートさせませんか。

在校生の声

情報通信業界で働くためには複数の国家資格の取得が必要ですが、高等技術専門校では資格取得への対策が充実しており、先生方もサポートしてくれます。私はそのおかげで、8つの国家資格・検定を在学中に取得することができました。就職活動のサポートも手厚く、就職率はほぼ100%です。専門分野で手に職をつけたい方、安定したインフラ業界を目指したい方は是非、電子情報通信ネットワーク科の入学を検討してみてください。

必要経費

教科書 約38,000円
作業服 約6,700円
その他、資格受験代等の費用がかかります。

木の家づくり科

カタチに残る仕事を見つけてみませんか？

※令和10年度から仙台高等技術専門学校で訓練が行われます。

訓練期間

2年

定員

15人

※令和9年度（1年次）は大崎高等技術専門学校で、2年次は仙台高等技術専門学校で訓練を実施します。

R9年度
入校生募集
(大崎校)

就職情報

就職率 **100.0%**

(令和6年度修了生)

【主な就職先】

工務店 ハウスメーカー 建設会社 ほか

訓練概要

継手や仕口など日本の伝統的な木組みの構法を中心に、自然素材を生かした住宅建築に特化したカリキュラムを組んでいます。基礎部分から内部・外部の仕上げまで、家づくり全般を学ぶとともに、林業体験や企業実習を取り入れ、より実践的な訓練を行います。また、令和10年度から新築される訓練棟で、訓練を実施します。※東北職業能力開発大学校「建築施工システム技術科（応用課程）」の受験が可能です。



継手・仕口製作



狭小住宅製作（1年次）



住宅・茶室設計



茶室製作（2年次）



ココがすごい！

伝統構法&土壁施工
を学べる！



古民家や茶室には、日本古来の木組みである伝統構法と土壁が使われています。それら伝統建築の知識技能を2年次の茶室製作を通して学び、将来は古民家再生などの仕事にも活かすことができます。

取得または
目標とする
資格

- 技能検定「建築大工」（技能照査に合格した場合、2級の学科免除）
- 安全衛生特別教育「足場の組立」、「フルハーネス」、「刈払機取扱」、「丸のこ等取扱」、「自由研削といし」 ●技能講習「玉掛け」
- 二級建築士・木造建築士（修了すると受験可能）

指導員から

大工職人を目指して、家づくりをしっかり学びたい方はもちろん、家や木材に興味のある方、体を動かしてものづくりが大好きな方、男女問わず大歓迎です。

在校生の声

高校を卒業してすぐに大工になる道もありましたが、何もわからず、仕事をしながら覚えていくよりも、基礎的な知識と技術をしっかりと身に付けてから、就職した方が有利だと考え入学しました。実際、専門用語や大工道具の使い方を理解することで、自分自身に自信がついたので、木の家づくり科に入学して良かったです。

必要経費

教科書 約 16,000 円
作業服・工具 約 100,000 円
その他、資格受験代等の
費用がかかります。

木 工 科

不可能を可能に出来る技を見つけてみませんか？

※令和10年度から仙台高等技術専門学校で訓練が行われます。

訓練期間

1年

定員

10人

R9年度
入校生募集
(石巻校)

就職情報

就職率 **87.5%**

(令和6年度修了生)

【主な就職先】

木製家具・建具製造業 住宅・店舗内装業 等

訓練概要

家具や建具製作に必要な設計図の作成、木材の性質理解、手工具の取扱い、木工機械の操作、安全作業法などの基礎技術に加えて、木取り、墨付け、加工、組立て、塗装までの一連の工程を、実習訓練を通して行い、実践的な技能を習得します。家具製造業や建具製造業などの現場で即戦力となる技能を身に付け、就職や資格取得につなげることを目的としています。また、令和10年度から木材を複雑な形状に加工できるNCルーターを導入し、より実践的な訓練を強化していきます。



製作課題



器工具使用法(手入れ)



工作基本実習



NCルーターでの作品



塗装実習(吹付塗装)



工芸品等の家具製作



ココがすごい!

「木工科」は、東北地方で唯一、宮城県にのみに設置されている訓練科です。県外から入学してくる方もいます。貴重な木工科で、あなたも本格的なものづくりに挑戦してみませんか。

取得または
目標とする
資格

- 技能検定「家具」、「建具」(技能照査に合格した場合、2級・3級試験の学科免除)
- 木材加工用機械作業主任者(受験資格の実務経験3年が2年に短縮)
- 技能講習「有機溶剤作業」
- 安全衛生特別教育「自由研削といし」

指導員から

木工科は「ものづくりの基礎」を徹底的に学べる環境であり、家具職人や建具職人をを目指す人に最適な訓練科です。また、漆塗りを専門とする指導員、挽物加工を専門とする指導員、幅広い木工技術に精通したオールマイティな指導員など、バラエティ豊かな指導員・講師が指導しますので、安心して学ぶことができます。

必要経費

教科書 約17,000円
作業服・靴 約18,000円

在校生の声

木工科の訓練は実習が中心であるため、より実践的な技術や技能を習得することができます。また、木工科は比較的、年齢や経歴が様々な方が多い傾向にあり、ものづくりに関心のある方は、是非、木工科の入学を検討してみてください。

造園・ガーデニング科

安全な道具の取扱い、基礎的な作業技術・知識を学びます。

※令和9年度までは「造園科」として訓練を実施します

訓練期間

6か月

定員

10人

**R9年度
入校生募集**



就職情報

就職率 **88.9%**

(令和6年度修了生)

【主な就職先】

造園業、園芸業、施設管理会社、ホームセンターほか

訓練概要

造園・ガーデニング作業に使用する機械、用具類の安全な取扱いと業界で必要となる基本的な設計施工・作業管理ができる知識と技能を習得し、関連業界で活躍できる人材を育成します。また、令和10年度からガーデニングに関する内容を強化していきます。



刈払い機による除草作業



切口への保護剤塗布作業



高所剪定作業



竹垣の作成作業



ココが **すごい!**

**三級造園技能士
にチャレンジ!**

在校中に三級技能検定にチャレンジすることができます。また、厚生労働省認定校である本校を修了することで、二級技能検定の受験資格が得られ、修了した年に受験することができます。



取得または
目標とする
資格

- 技能検定「造園」（修了した場合、2級の受験資格）
- 安全衛生特別教育「高所作業車運転」、「刈払機取扱い」、「足場の組立」、「フルハーネス」、「チェーンソーによる伐木等」

指導員から

造園・ガーデニング業界は、公共の街路樹や公園の樹木の管理を行い、街の景観維持に貢献しています。また、一般家庭の庭のデザインを、依頼主の要望・イメージをもとに形にしていく、やりがいのある仕事です。専門的な知識・技能を学び、将来の仕事にしてみませんか？

修了生の声

訓練では、樹木の特性に合わせた剪定（せんてい）の手順から、石の表情を活かす石積み技法まで、講師の方々が登場で培った生きた技術を惜しみなく伝授してくださいました。修了後は、年月を重ねるごとに美しさを増す庭園づくりを通じて、人々に安らぎを与え、地域の緑豊かな景観を守り続ける技能者として貢献していきたいです。

必要経費

教科書 12,000円
作業服・靴 20,000円
その他、資格受験代等の費用がかかります。

左官・エクステリア科

左官・タイル・ブロックの技能について幅広く習得します。

※令和9年度までは「左官科」として訓練を実施します

訓練期間

6か月

定員

10人

R9年度
入校生募集



就職情報

就職率 **66.7%**
(令和6年度修了生)

【主な就職先】

左官・タイル・ブロック工事業 ほか

訓練概要

建築構造や関係法規等、建築生産についての基礎を学び、実習を通じて専門の技能を習得し、左官・タイル・ブロック工事の施工ができる技能者を目指します。また、令和10年度からエクステリアに関する内容を強化していきます。



タイル施工実習



ブロック組積実習



コンクリート施工実習



インターロッキング施工実習



ココが **すごい!**

公共職業能力開発施設
として東北で唯一
左官・タイル・ブロック
の技能習得ができます!



取得または
目標とする
資格

- 技能検定「コンクリートブロック工事」(修了した場合、「左官」2級の受検資格)
- 安全衛生特別教育「足場の組立」、「自由研削といし」、「フルハーネス」

指導員から

日本の風土に適した古来より伝わる建築仕上げの左官について、また建築物の内外装で、多彩に仕上げることができるタイルについて、更に、エクステリア工事で使用されるコンクリートブロックやインターロッキングブロックの施工技能を習得することで、多様なニーズに対応できる技能者を育成します。

修了生の声

訓練では、砂やセメントの絶妙な配合から、繊細なコテ運びのコツまで、講師の方々が根気強く手本を見せてくださるため、着実に技能を習得することができます。実習を通じて、常に仕上がりを意識した集中力と、現場での安全管理の大切さを身につけることができました。修了後は、自分が塗った壁が何十年も残るといふ誇りを胸に、伝統技術を支える職人として社会に貢献していきたいです。

必要経費

教科書 約 25,000 円
作業服・靴 約 20,000 円
その他、資格受験代等の
費用がかかります。

ジョブセレクト科

「何がしたい？」を見つける1日～8日間。あなたの未来を探そう。

訓練期間

1～8日間

定員

各科5人

**R9年度
入校生募集**



訓練概要

ジョブセレクト科は、ものづくりに興味があり、自分に合う仕事を見つけて、安定的な就労を目指す若年者（通信制高校生・定時制高校生含む）向けに多様な分野を横断的に学び、自分がやりたいことを見つけるための訓練科です。設備工事・電気工事・サインデザインなどの8つ訓練から選んで受講します。手厚いサポートがありますので、未経験者でも安心してください。自分の未来を発見する1～8日間にチャレンジしてみませんか？



機械加工訓練



サインデザイン訓練



自動車整備訓練



設備工事訓練



電気工事訓練



電子制御訓練



建築製図訓練



塗装施工訓練

オフィスビジネス科

R9は気仙沼高等技術専門学校で、オフィスビジネス科として訓練を実施し、
R10は気仙沼地域において、サテライト訓練として実施します

訓練期間

R9 1年

R10 3～6か月

定員

15人

30～45人

**R9年度
入校生募集
(気仙沼校)**

訓練概要

パソコン操作（ワード、エクセル、データ処理等）や簿記会計、税務会計、ビジネスマナーなどの知識と技能を習得します。また、基本的なITスキルを身につけ、業務の自動化やDX（デジタルトランスフォーメーション）への対応など、企業が求めている幅広い人材を目指し勉強します。

※内容を変更する可能性があります。



取得または
目標とする
資格

- IT パスポート
 - 日商簿記検定
 - 日商 PC 検定（文書作成・データ活用・プレゼンテーション資料作成）
 - ビジネス文書検定
 - 秘書検定
- ※内容を変更する可能性があります。

令和8年度オープンキャンパスの案内

本校は仙台市宮城野区のJR仙石線福田町駅から徒歩約6分のところにある、全国でも有数の大規模職業能力開発校です。オープンキャンパスでは、実際に訓練の様子を見学していただけるほか、各訓練科での体験実習や個別の入学相談を実施いたします。

●開催日

5/24
(日)

6/21
(日)

7/12
(日)

8/30
(日)

●時間帯(予定)

午前の部
9:00～12:30

午後の部
12:40～16:00

※午前の部、午後の部の内容は同じですので、都合のよい時間帯にご参加ください。

●主な内容(予定)

- 見学ツアー……………すべての訓練科を紹介します。
- 体験実習……………詳しくは左下の二次元コードから確認してください。
- 入学相談……………訓練内容や学生生活、授業料等についてご相談をお受けします
- 入試準備セミナー……入試選考の実施方法と面接のポイントを説明します

※1 オープンキャンパスの詳細な情報は左下二次元コードからご確認ください。

※2 オープンキャンパスに参加を希望される方は右下二次元コードからお申し込みください。



📄オープンキャンパス情報



📄オープンキャンパス申し込みフォーム



令和8年度ミニオープンキャンパスの案内

休日・日中、参加できない方のために、ミニオープンキャンパスを実施します。

●開催日

4/28
(火)

7/2
(木)

9/29
(火)

11/11
(水)

1/13
(水)

2/18
(木)

※いずれもほぼ同じ内容になりますので、都合のよい時にご参加ください。

●時間帯(予定)

18 : 30 ~ 20 : 00

●主な内容(予定)

- ミニ・キャリア講話
- 訓練科の紹介
- 入試ガイド
- 応募手続きについて
- 実習場の見学



ミニオープンキャンパス
参加の申し込みはこちら👉



在職者訓練

- ◇ 仙台高等技術専門学校では、県内へのものづくり産業の集積や生産性向上に対する企業の人材育成ニーズに対応するため、在職者の技能向上のための訓練をはじめ企業や業界のニーズに対応したさまざまなタイプの在職者訓練を企画実施しています。
- ◇ 訓練コースを予め設定する「**レディメイド訓練**」や企業から要望を受け設定する「**オーダーメイド訓練**」があります。
- ◇ **在職者訓練は無料で受講することができます**（※ただし、テキスト代などは別途必要です）。社会人のリカレント教育にも最適です。
- ◇ 在職者訓練は、**主に土日の2日間（6時間/日×2日）**コースで開催しています（コースによっては、平日に開催しています）ので、比較的、社会人の方が参加しやすいよう配慮しています。
- ◇ 在職者訓練は、**主に若手技能者やスキルアップを目指す方などを対象**としており、基礎的な訓練内容となっております。御要望に応じて、実践的な訓練コースの設定も可能です。
- ◇ その他、御要望やお問い合わせがありましたら、お気軽に御相談ください。

【これまでの実績】

コース名	期間
配管基礎技能科	2日
電気工事基礎科	2日
機械加工科（精密測定技術）	2日
IT実務科（RPA入門コース）	2日
IT実務科（Python入門コース）	2日
CAD操作入門科	2日
塗装技術科	2日
自動車整備基礎科	2日
庭園施工科	2日



詳細な在職者訓練については、左記の二次元コードから御確認ください。

【受講者からの感想（抜粋）】

- とても勉強になりました。
- 基本的な部分を知ることが出来て良かった。
- まったく初めてでしたが、何とかついていけました。優しく、丁寧な先生で良かったです。
- 授業の進むペースが丁度良かったと思います。途中あせることなく、理解が深まりました。
- とても良い訓練だと思います。もっとコースが増えるとうれしいし、広く知ってほしいと思いました。
- 講師の知識・経験が豊富で興味深い話が多かったです。他の在職者訓練も機会があれば参加させていただきたいと思います。
- 本当に参加して良かったです。このような場があることをもっと早く知りたかったですし、参加したい人は多いと思うので、PRにも力を入れていただきたいと感じます。

離職者等再就職訓練

- ◇ 宮城県では、職業転換あるいは新たな職業に就きたいと希望される求職者の方を対象として再就職に必要な知識や技能を習得していただくための離職者等再就職訓練を実施しています。
- ◇ 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦または支援指示を受けられる求職中の方であれば**無料で受講できます**。ただし、テキストなどの教材費や資格試験の受験料は自己負担となります。
- ◇ 訓練実施施設は仙台市内の専門学校等となっており**訓練期間は概ね2か月～2年間（主に3か月～6か月のコース）**となっています。

【これまでの実績】

コース名	期間
介護職員初任者研修科	2～3か月
PC 基礎科	3か月
Excel VBA 科	3か月
IT パスポート科	3か月
経理事務科	3か月
医療事務科	3か月
経理基礎科	6か月
Java プログラマー養成科	6か月
介護福祉士養成科	2年
保育士養成科	2年
IT 技術者養成科	2年



詳細な離職者等再就職訓練については、左記の二次元コードから御確認ください。

【受講者からの感想（抜粋）】

- たいへん貴重な機会に恵まれ感謝申し上げます。
- 充実した訓練を受講することができました。ありがとうございました。
- 再就職に向けての最高のプログラムだと思いました。
- 丁寧な授業とテキストのおかげで資格取得することができました。これからは様々な事情で再就職を頑張る人達の力になってほしいです。ありがとうございました。
- 今の年齢で未経験の職種に転職できるのかとても不安でしたが、訓練を通して資格や PC スキルが身に付き、無事就職も決まりそうです。ありがとうございました。
- たいへん分かりやすい授業で、短期間で経理事務のスキルアップが図られたと感じます。今後の再就職活動に自信を持って取り組み、早期に目標を達成したいと思います。ありがとうございました。
- 訓練を終えて、独学では難しかった簿記の資格を取得することができました。理解度を確認しながら授業を進めていただき、また試験対策の時間も多くありたいへんでしたが、楽しく学ぶことができました。キャリアコンサルティングの方のサポートも手厚く助かりました。ありがとうございました。

令和9年度入校生募集(仙台高等技術専門校)

●令和9年度入校生募集を行う訓練科(普通課程)

科名	期間	定員	科名	期間	定員
機械エンジニア科	2年	15	設備工事科	1年	20
電子制御システム科	2年	20	建築製図科	1年	20
自動車整備科	2年	20	塗装施工科	1年	20
電気科	1年	20	サインデザイン科	1年	10

●令和9年度入校生 募集日程(普通課程)

選考方法	募集期間	選考日	合格発表
推薦選考	令和8年10月1日(木)～10月13日(火)	令和8年10月23日(金)	令和8年11月4日(水)
一般選考	一次募集	令和8年11月5日(木)～11月20日(金)	令和8年12月18日(金)
	二次募集	令和9年1月4日(月)～1月22日(金)	令和9年2月5日(金)
	三次募集	令和9年2月17日(水)～3月2日(火)	令和9年3月12日(金)

※一次又は二次募集で定員に達した科は、二次又は三次募集は行いません。

●費用

入学者選抜 手数料

2,200円

以下のいずれかの方法にて納入します。

- 電子申請システムによる入学選抜申込申請時に電子決済にて納入(新規学卒者のみ)
- 応募する高等技術専門校に來校し、各種電子マネーにて納入
- 宮城県本庁舎または各地方合庁に設置のセルフレジにて納入手数料支払い(現金にも対応)

電子申請システムによる申し込み方法についてはこちら



●応募対象者

推薦選考

次の全てに該当する方

- 令和9年3月までに高等学校等を卒業見込みであること。
- 応募する訓練科への入学を第1希望としていること。
- 高等学校長等が、職業に必要な技能及びこれに関する知識を積極的に習得する意欲を有する者として、責任を持って推薦できる者であること。
- 在学中の出席率が良好であると高等学校長等が認める者であること。

一般選考

高等学校等卒業者(令和9年3月までに卒業見込みの方、高卒認定試験合格見込みの方を含む)又は同等以上の学力のある方。ただし、自動車整備科にあつては、学校教育法による高等学校卒業資格等がある方(卒業見込みの方、高卒認定試験合格見込みの方を含む)。

●選考方法

推薦選考

人物考査(面接)
入学を希望する高等技術専門校において実施します。

一般選考

学力考査(国語・数学)及び人物考査(面接)
第2希望の有無にかかわらず、
第1希望の高等技術専門校において実施します。
(受験票は、選考日の5日前を目安に発送します。)
過去の学力考査問題については各高等技術専門校のホームページ
(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/mondaisyu.html>)
に掲載していますのでぜひご覧ください。
右記、二次元コードからもアクセスできます。



●令和9年度入校生募集を行う訓練科(短期課程)

科名	期間	定員
造園科	6か月	10
左官科	6か月	10

●令和9年度入校生 募集日程(短期課程)

募集	募集期間	選考日	合格発表
募集(1回目)	令和9年1月4日(月)～1月29日(金)	令和9年2月10日(水)	令和9年2月16日(火)
募集(2回目)	令和9年2月17日(水)～3月4日(木)	令和9年3月16日(火)	令和9年3月19日(金)

※募集(1回目)で定員に達した科は、募集(2回目)は行いません。

訓練期間	令和9年4月から9月までの6か月間
------	-------------------

●訓練受講のメリット

短期間で技能習得	6か月間で技能を身につけることができます
受講料無料	教科書、作業着等は実費負担になります
就職支援	ハローワークと連携して就職を支援します

●応募について

応募方法	お住まいの地域を担当するハローワークで職業相談をされた上で、下記の書類をハローワーク(ハローワークプラザ青葉・ハローワークプラザ泉を除く。)に提出してください。 (1) 入学願書 ※ハローワーク、高等技術専門校で入手できます。 (2) 返信用封筒 ※志願者の住所・氏名が記入され、110円分の切手が貼られた封筒(120×235mm、長形3号)を1通提出してください。
選考方法	人物考査(面接)により選考を行います。
合格発表の方法	受験した校に合格者の受験番号を掲示し、受験者に結果を通知します。

Q&A（訓練科の違い、入学要件、学生生活等）

訓練科の違いについて

Q1. 総合建設技術科 と 木の家づくり科 の違いは何ですか？

A1. 「総合建設技術科」では「ビル建設」に必要な知識・技能を習得する訓練科であり、溶接・板金などについても併せて学びます。一方、「木の家づくり科」は木造建築に特化した内容であり、簡単に言うと「建築大工」を育成します。伝統的な在来構法などの知識を学び、実習では模擬家屋を建て、実際の現場で必要となる知識・技能を習得します。

Q2. 総合建設技術科 と 設備工事科 の違いは何ですか？

A2. 「ビル建設」を例にあげると、「総合建設技術科」では、主に鉄筋組立工事、型枠（※型枠とは液体状のコンクリートなどを流し込み、所定の形状に固めるための仮設の枠組み）工事に必要な知識・技能を習得する訓練科になります。一方、「設備工事科」は、設備工事（水道管取り付け、エアコン取り付け、消火設備取り付け 等）に必要な知識・技能を習得する訓練科になります。

Q3. 電子制御技術科（メカトロニクス） と 機械エンジニア科 の違いは何ですか？

A3. 電子制御技術科は、産業用「ロボット」について学ぶ訓練科になります。産業用ロボットは、機械、電気・電子、情報技術の3要素の分野を学ぶことで、動作させることができます。機械エンジニア科は、機械加工について、深く学ぶ訓練科になります。例えば、金属を0.01mm単位の精度で削る技術・技能を習得します。

Q4. 電子制御技術科（メカトロニクス） と 電気科 の違いは何ですか？

A4. 電子制御技術科は上記のとおりです。「電気科」では、電気の「強電」の分野を学びます。「強電」とは、電気を「エネルギー」として活用する分野のことです。例えば、電気でモーターを駆動させたり、照明を点灯させたりする分野になります。人々が生活する上では、無くてはならない分野であり、必要な知識・技術について習得します。

Q5. 電子制御技術科（メカトロニクス） と 電子情報通信ネットワーク科 の違いは何ですか？

A5. 電子制御技術科は上記のとおりです。「電子情報通信ネットワーク科」では、電気の「弱電」の分野を学びます。「弱電」とは、電気を「通信や信号」として活用する分野のことです。例えば、電気を電波にし、携帯電話、放送などの分野に利用します。現代社会では、インフラと位置づけられており、必要な知識・技術について習得します。

入学要件について

Q6. 入試制度について、教えてください。

A6. 普通課程は、推薦選考と一般選考があります。推薦選考は高等学校等を卒業見込みの方を対象としており、選考方法は人物考査（面接）のみです。一般選考は、高等学校等を卒業見込みの方ももちろん、高等学校卒業者、離職者、求職者など対象者は幅広くなっています。選考方法は学力考査（国語・数学）及び人物考査（面接）となっております。また、短期課程は、推薦選考がなく、応募対象者はA9のとおりです。選考方法は人物考査のみです。

Q7. 高校を中退したのですが、入学できますか？

A7. 普通課程の自動車整備科は高卒である必要がありますが、その他の訓練科については、高校認定試験合格見込みの方や同等以上の学力のある方であれば、入学は可能です。個別に事情がある方は、応募される前に希望する高等技術専門校、または県庁の産業人材対策課までご相談することをお勧めします。短期課程については、A6・A9のとおりです。

Q8. 現在、在職中ですが、退職して訓練を受講したいと考えています。雇用保険を受給しながら、訓練を受講することは可能ですか？

A8. 雇用保険の受給の可否については、お住まいの地域を管轄するハローワークにご相談ください。入校するためには、選考試験を受験していただき、合格基準に達する必要があります。

Q9. 中学校を卒業する予定です。卒業後、すぐに短期課程に入学することは可能ですか？

A9. 可能です。短期課程では、在職労働者、高齢者、パートタイム労働を希望する者、離転職者、技能検定の受検を目的とする者などが対象となります。訓練の受講を希望する際、お住まいの地域を管轄するハローワークにご相談ください。

Q10. 高等技術専門学校と一般の専門学校の違いは何ですか？

A10. 高等技術専門学校は厚生労働省が所管していますが、一般の専門学校は文部科学省が所管しています。つまり、本校は厚生労働省の法律に基づき、設置されています。特徴的なものとしては、実習が多く、また訓練（授業）の出席率が修了要件の一つとなっています。

Q11. 外国籍ですが、応募はできますか？

A11. 外国籍の方は、国内での就労かつ公共職業訓練の受講が可能か確認する必要がありますので、事前に申し込みを希望する高等技術専門学校、または県庁の産業人材対策課までご相談ください。

Q12. 在職したままで、訓練を受講する可能ですか？

A12. 可能です。ただし、入学するために、入学選考試験に合格することや、入学後は定められた出席日数及び成績を修める必要がありますので、それが可能な方に限ります。

学生生活等について

Q13. 夏休みなどの休みはどのくらいありますか？

A13. 厚生労働省の定めでは、普通課程は年間1400時間以上の訓練（授業）を受講することとされています。それを満たすためには夏休みは2週間程度になります。なお、土日祝日、年末年始は休みになりますが、土日に学校行事がある場合、登校日となる場合があります。夏休み期間や学校行事の取り扱いについては、短期課程（6か月）も同様です。

Q14. 寮はありますか？

A14. 寮は設置しておりません。しかし、本校の近くに（徒歩3分程度）民間企業が経営する学生寮があります。ご自身で契約していただくこととなりますが、これまででも利用実績があります。また、自宅が遠方の方のために、家賃補助を検討しています。詳細が決まり次第、お知らせします。

Q15. 自動車通学してもいいですか？

A15. 自動車通学は可能です。ただし、敷地内の駐車スペースが限られているため、遠方にお住まいの方が優先になります。どうしても自動車通学したい場合、近隣の民間企業等が経営する駐車場を借りることができれば、自動車通学は可能です。

Q16. 入学金や授業料の減免制度はありますか？

A16. 世帯収入などの要件により、入学金や授業料が減免される場合があります。入学後、担当職員に確認していただき、申請手続きを行ってください。

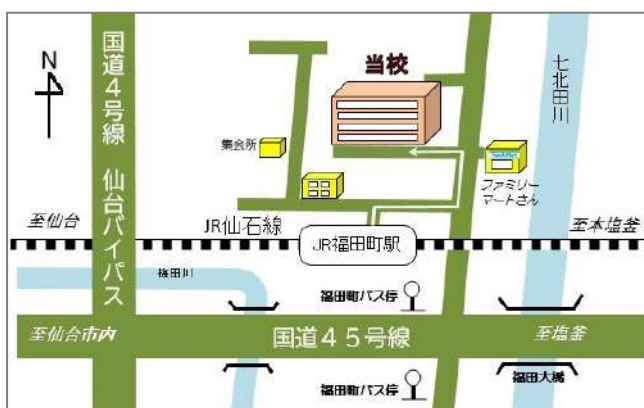
Q17. 入学後、アルバイトをすることは可能ですか？

A17. 可能です。ただし、訓練（授業）を優先してください。本校は実習が多いため、アルバイトの影響で、訓練に遅れが生じるとそれを取り戻すためには大きな労力が必要です。



令和10年4月の開校に向け、
現在、工事を進めています。

完成した建物から順次、見学することが可能
ですので、是非、オープンキャンパスに参加
していただき、完成した建物をご覧ください。

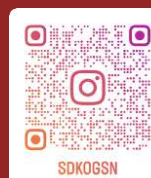


【お問い合わせ】

宮城県立仙台高等技術専門学校

仙台市宮城野区田子1-4-1

電話 022-258-1151
E-mail sdkogsn@pref.miyagi.lg.jp



SDKOGSN